

東京支部の組織

1. 支部の地域構成

東京支部は1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）に在住する会員が対象です。その活動の中心は地理的な関係により東京圏（東京都全域、神奈川県東北部、埼玉県東部、千葉県北西部）となっています。

2. 分会構成

東京支部は会員数が多いため、下記のごとく6分会（各分会はそれぞれ支部扱い）によって構成されています。（令和6年）

分会	学 科 略 称
建設系	コ, 設建, 建社, サ, 開, 鉱, 建建, 建地, 建都, 院開, M設, M建, D設, D建
金属 マテリアル	ヤ, 物材, 物B, 金, 加, 物マ, 二材, マテ, 院金, 院加, M物, D物
機 械	キ, 二キ, 設機, 設B, 機科, 機情, 機宇, 機B, 機, 機二, 機機, 二機, 総合, 短機, 情機, 宇機, 院機, 院機二, 院情シ, M設, M機, M創, M先, M情シ, D設, D機, D創, D先, D情シ
化 学	力, 火, 化, 環, 物化, 応化, 情生, 院化, 院環, 院情科, M物, M情科, M生生, M生脳, D物, D情科, D生生, D生脳
電気情報	テ, ツ, ニテ, 電, 子, 情, 二電, 電電, 電子, 電計, 電情, 電B, 電電子, 電通, 電シ, 電気工, 電子デ, 短電, 情知, 情子, 宇電, 院電, 院子, 院情, 院情科, 院情シ, M電, M情科, M情シ, M情創, M情科, D電, D情科, D情シ, D情創
宇宙制御 システム	制, 設制, 機制, 機知制, 情制, 情創, 院制, 院情科, M設, M機, M情科, D設, D機, D情科, D宇宙工, M宇宙工

備考：1) 構成学科は明専会会員名簿の略称で示した。

3. 支部、分会の会員数

（令和6年4月1日現在）

分会名	正会員	活動会員	備考
建設系	336	240	正会員： 卒業会員 （転居その他の理由で 正確な数値ではない） 活動会員： 分会活動等に関して 交信可能な会員
金属マテリアル	437	220	
機 械	857	380	
化 学	635	360	
電気情報	1,364	470	
宇宙制御システム	482	100	
合計（東京支部）	4,111	1,770	

東京支部、明専会東京センター、九州工大鳳龍クラブの関係

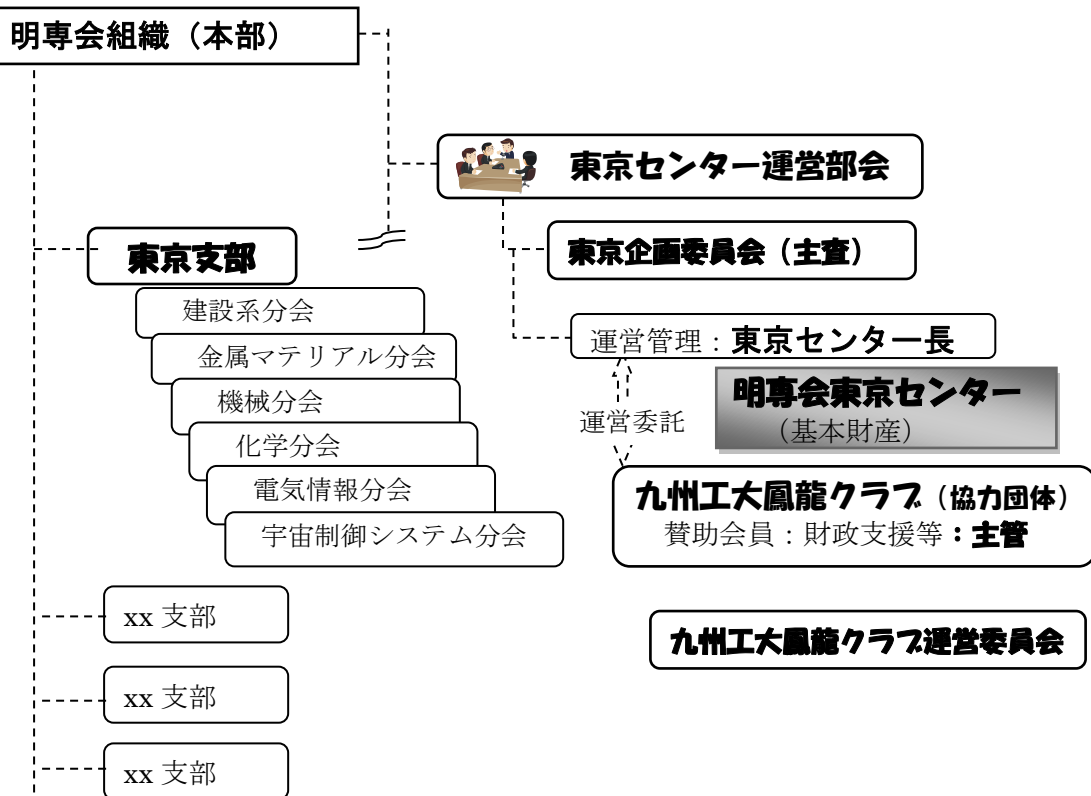
「東京支部」は明専会員の組織であり、「東京センター」は一般社団法人明専会の基本財産で、明専会本部の管理下にある。

明専会本部のもと、「東京センター運営部会」で運営し、運営管理の実務は東京センター長が当たる。

また、本運営部会に重要事項を集中審議するために「東京企画委員会」を置く。

「九州工大鳳龍クラブ」は明専会会員有志（賛助会員）による協力団体であり、東京センターの目的・使命達成に寄与し、合わせてセンター運営の委託を請ける。

一般社団法人 明専会



【東京支部】

明専会組織規程第11条によって設立されたものであり、明専会本部との連絡を密にしてその事業に協力し、会員相互の親睦と啓発につとめることを目的として設立された明専会の中の一つの地域的な組織です。

組織運営の効率化を目的とし、6つの分会から構成されています。

それぞれの分会は機能上支部扱いです。

東京支部には支部長1名、事務局(幹事長1名)、会計担当1名、監事2名および、各分会代表から構成されています。(詳しくは東京支部役員欄を参照ください)

【明専会東京センター】(一般に東京センターと呼ばれています)

明専会の一つの活動拠点として設けられた建築物(法人の基本財産)であります。

その運営は明専会組織規程第15条2に基づいて設置した「東京センター運営部会」で行い、運営管理は東京センター長があたります。

円滑な運営と発展を図るために、下記のような東京センター運営委員会を設け、年2回(通常2月・7月)開催いたします。

(詳しくは「一般社団法人明専会東京センター運営基準」を参照ください)

○部会長1名	明専会副会長
○副部会長2名	部会長推薦者の2名
○委員	東京支部各分会の推薦者各2名、委員長の推薦者5名以内、東京センター長
○監事2名	明専会監事の推薦した者

【東京企画委員会】

明専会東京センターの重要事項を審議、提案するために本委員会を設置しています。

支部長を委員長とし、事務局として主査をおき、6つの分会長および東京センター長で構成する。

【九州工大鳳龍クラブ】(一般に鳳龍クラブと呼ばれています)

東京センターの協力団体として設けられた組織であります。

その具体的な事業内容は下記のようなものがあげられます。

1. 東京センターの活動のための財政的援助
2. 会議、講演会、勉強会、親睦会その他各種の会合開催
3. 東京センター利用者に対する飲食物の斡旋
4. その他本クラブの目的を達成するために必要な事業

このような事業を行うための資金は個人賛助会員(東京支部会員のみではなく、広く明専会全会員より募集)および法人賛助会員の賛助会費で賄われています。本クラブの円滑な運営と発展を図るために鳳龍クラブ運営委員会です。

東京支部関連役員

1. 東京支部役員および明専会代議員（令和6年度）

2024/4/1 更新

支部、分会名	東京支部役員		明専会代議員(東京支部選出者)	
	役名	氏名		
東京支部	支部長	竹林貴史(化 58)		
	幹事長	小野 聡(電 51)		
	会計	菅 和生(環 61)		
建設系	分会長	柿原利孝(開 46)	柿原利孝(開 46)	岡田光志(開 62)
	幹事長	岡田光志(開 62)	江崎 純(開 H1)	
金属 マテリアル	分会長	犬丸清美(加 53)	犬丸清美(加 53)	村上 哲(加 54)
	幹事長	高鍋雅則(物 BH8)	高鍋雅則(物 BH8)	仲野紀子(金 H1)
機械	分会長	古賀 司(機 50)	高原正雄(機 43)	古賀 司(機 50)
	幹事長	長井直之(機二 58)	長井直之(機二 58)	木下郁夫(機二 62)
			田中将樹(機 H16)	
化学	分会長	菅 和生(環 61)	栗原正人(化 50)	蔵本正彦(化 51)
	幹事長	長谷部浩一(化 60)	竹林貴史(化 58)	菅 和生(環 61)
			橋本ちえみ(化 H1)	御厨千恵(物化 H14)
電気情報	分会長	小野 聡(電 51)	小野 聡(電 51)	末吉 誠(二電 56)
	幹事長	久保田和彦(電 56)	久保田和彦(電 56)	山下滋之(電電 H10)
			横尾威一郎(電子 H12)	佐々木和正(情子 H14)
			斉藤ちさと(情 H3)	
宇宙制御 システム	分会長	山口政仁(制 52)	山口政仁(制 52)	村田三七男(制 59)
	幹事長	村田三七男(制59)		

2. 東京センター運営部会

部会長	蔵本正彦(化 51)			
副部会長	小野 聡(電 51)	犬丸清美(加 53)		
東京センター長	栗原正人(化 50)			
委員	柿原利孝(開 46)	岡田光志(開 62)	高鍋雅則(物 BH8)	古賀 司(機 50)
	長井直之(機二 58)	久保田和彦(電 56)	竹林貴史(化 58)	長谷部浩一(化 60)
	菅 和生(環 61)	橋本ちえみ(化 H1)	山口政仁(制 52)	村田三七男(制 59)
	永松正博(制 47)			
監事	山口政仁(制 52)	長谷部浩一(化 60)		

東京支部運営状況報告

東京支部の活動は支部構成母体である6つの分会の協力によって行われています。分会協力による東京支部のまとまった運営活動状況を報告いたします。それぞれの分会の活動状況については各分会のホームページを参照ください。

1. 支部運営の方法

1.1 支部役員会

東京支部の役員は東京センター運営委員、鳳龍クラブ運営委員を兼務していることが多いため、支部役員会、東京センター運営部会、鳳龍クラブ運営委員会を合同して開催される年5回(2月、4月、7月、10月、12月)の運営委員会において、各種の検討審議を行っております。

1.2 各種委員会

特定の事項について比較的長期にわたって検討解決すべきものは支部役員会の決裁によって、それぞれ委員会を設けて解決にあたっております。

2. 年間行事

それぞれの分会ごとに年次総会、講演会等の行事を行っています。分会毎のホームページをご覧ください。

全分会の共催行事(東京支部主催)として、下記の年次定例行事を行っています。

行事名	時期(目安)	内容紹介
鳳龍クラブ主催 新年会	1月 最終土曜日	東京支部と鳳龍クラブの共同で開催される年始の賀詞交換会
春季講演会 ・懇親会	4月 第3土曜日	自己啓発と懇親を兼ねた支部最大行事の一つ。
秋季講演会 ・懇親会	10月 第1土曜日	春季のものと同一趣旨の行事。

備考:開催場所は原則として東京センターです。

3. 令和5年度および令和6年度の行事实績と計画

直近の計画および報告は、「支部・その他からのお知らせ」ページをご参照ください。

行事名	開催日	内容紹介
令和5年度 秋季講演会・懇親会	令和5年 11月4日	講師:泉 優佳理様(加61) 演題:『伝えること 伝わること』
令和6年度 新年会	令和6年 1月20日	明専会東京支部役員ならびに鳳龍クラブ賛助会員 24名出席
令和6年度 春季講演会・懇親会	令和6年 4月20日	講師:春山哲也教授 演題:『地球温暖化もその対策も「元素の循環」が肝心』
令和6年度 秋季講演会・懇親会	令和6年 10月5日	九州工大の卒業生から講師を迎え、講演会開催の予定 講師を交え、会員の懇親を図る